

(臨床研究に関するお知らせ)

紀南病院血液内科で、悪性リンパ腫に対する化学療法を受けられた患者さんへ

紀南病院血液内科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の通常診療で得られる診療情報や検査データ等を解析する「後方視的観察研究」という臨床研究で、紀南病院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。通常診療の中で得られる情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

“悪性リンパ腫における発熱性好中球減少症の予後リスク検討”

2. 研究責任者

紀南病院血液内科 森本 将矢

3. 研究の目的

本研究の目的は、悪性リンパ腫患者において化学療法を実施した際の発熱性好中球減少症の発症における予後因子を解析することです。

発熱性好中球減少症の発症リスクスコアを作成することで本邦での悪性リンパ腫診療の向上につながると考えております。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

当院の悪性リンパ腫の患者さんで、2010年1月1日から2020年12月31日までの期間中に化学療法を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、悪性リンパ腫に関するデータと治療経過中の検査結果に関する情報です。また発熱性好中球減少症の発症回数を計測します。

(3) 方法

診療録(カルテ)より悪性リンパ腫に関するデータと治療経過中の検査結果を抽出し、発熱性好

中球減少症の発症割合について統計学的解析を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。
また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 本研究の内容

悪性リンパ腫は様々な種類があり近年治療成績が向上しています。
しかし化学療法による治療のもっとも重大な副作用として発熱性好中球減少症があり、いかに発熱性好中球減少症を予防するかは重要です。

一般的に化学療法を行う際に発熱性好中球減少症の発症が 20%を超える症例においては G-CSF 製剤を予防的に投与することが各ガイドラインでも推奨されていますが、この発症率を予測することは困難です。

そこで当院での約 10 年間の悪性リンパ腫治療の後方視的解析を行い、発熱性好中球減少症の発症に関与する因子を検索します。

8. 問い合わせ先

田辺市新庄町 46 番地の 70

紀南病院血液内科 担当医師 森本 将矢

TEL : 0739-22-5000 FAX : 0739-26-0925